

G-NEXT

第三者割当による新株式及び第8回新株予約権の発行に関する補足資料

資金使途に対応する事業方針の補足説明

株式会社ジーネクスト

2026年9月15日

証券コード：4179（グロース市場）

01

エグゼクティブサマリー

本第三者割当の位置づけ / 調達概要 / 割当予定先

■ 資金調達後、既存3事業の注力領域を具体化

既存3事業であるソフトウェア・ハードウェア・ソリューション各事業の注力領域を具体化
子会社VoXテクノロジーについては、営業機能会社として、今後も展開

01

ソフトウェア：AIコンタクトセンター（音声AI対応）

音声AIによる顧客対応の自動化と対応データの活用により、既存顧客及びBPO領域への展開を図る。

02

ハードウェア：AIデータセンター（AI計算基盤の提供・運営）

GPU、サーバー、コンテナ型データセンター等の提供を進めるとともに、自社での運営にも取り組む。（検討中）

03

ソリューション：AIソリューション（AIデータ活用・販促支援）

顧客データ解析、販促・売上向上支援、Physical AI等を通じ、業種別の課題解決を進める。

04

現行計画との関係

本資料は、現行の中期経営計画及び「事業計画及び成長可能性に関する事項」の変更を伴うものではありません。

■ 本第三者割当の概要

普通株式で払込期日に一定額を調達し、新株予約権で段階的な調達と希薄化への配慮を図ります。

項目	内容
発行形態	第三者割当による新株式（本株式）及び第8回新株予約権（本新株予約権）
本株式	発行株式数 1,359,300株 / 調達額 420,023,700円 / 払込期日（2026/10/1）に全額を調達
本新株予約権	潜在株式数 1,715,400株 / 最大調達額 532,357,236円 / 割当予定先の行使により段階的に調達
最大調達額	952,380,936円（本株式 約4.2億円 + 本新株予約権 約5.3億円）
希薄化率	本株式 25.06% / 本株式及び本新株予約権の合算 56.68%
資金使途	新規事業・サービス開発資金 450百万円 / 運転資金 97百万円 / M&A・資本業務提携先開拓資金 395百万円
手続き	希薄化率が25%以上であるため、独立第三者からの意見入手手続を実施

■ 割当予定先と割当内容

各割当予定先について、反社会的勢力との関係がないことの確認及び払込みに要する財産の確認を実施しております。

区分	割当予定先	調達額	株式数・潜在株式数
本株式	株式会社ASK space design	約200百万円	647,300株
本株式	株式会社ADON	約120百万円	388,300株
本株式	富士キャピタル有限責任事業組合	約100百万円	323,700株
本新株予約権	株式会社舞花	最大 約330百万円	1,068,000株
本新株予約権	SEVEN STAR SYSTEM株式会社	最大 約100百万円	323,700株
本新株予約権	株式会社ASK space design	最大 約100百万円	323,700株

■ 割当予定先の選定理由

事業親和性、資金力・信用力、中長期保有の方針を基準として選定しております。

割当予定先	主な事業	選定した主な理由
ASK space design	投資事業、不動産金融事業、不動産管理運営事業	事業親和性及び当社事業への理解。資金力、経営経験及び対外的信用力が財務基盤の強化と成長戦略の遂行に資すると判断 中長期保有の方針
ADON	有料職業紹介、インターネット関連、営業支援・販売支援、経営コンサルティング	AI駆動開発・GPU関連分野での具体的な協議を実施中 Discoveriezの改修計画への助言実績。 中長期保有の方針
富士キャピタル有限責任組合	投資業務、コンサルティング等	事業内容へのご評価並びに今回の当社の資金調達の計画及び意義に賛同いただき、本株式の引受けを合意
舞花	企業ガバナンスに関するコンサルティング、経営コンサルティング、投資有価証券の売買・運用・保有	2024年7月に資本提携契約を締結した筆頭株主 事業進捗及び株価動向を踏まえた段階的な資金供給が期待できる
SEVEN STAR SYSTEM	ブロックチェーン及びシステムのセキュリティに関するコンサルティング	AIデータセンター関連の製品やセキュリティ分野での連携、エネルギー分野やweb3.0における協業可能性

■ 即時調達と段階調達を組み合わせたスキーム

本株式で当面の資金需要に対応し、本新株予約権で希薄化の即時発生を抑えつつ追加調達の余地を確保します。

観点	本スキームの内容	当社の考え方
調達の確実性	本株式は払込期日に全額を調達 本新株予約権は行使に応じて段階的に調達	当面必要な資金を確保しつつ、追加調達の余地を残す
希薄化	本株式による即時の希薄化は25.06% 本新株予約権は行使時まで希薄化が生じない	一括発行に比べ、既存株主への影響を段階的に分散
潜在株式数	本新株予約権の目的である株式数は固定	株価変動により潜在株式数が増加することはない
取得条項	当社の裁量により本新株予約権を取得することが可能	方針変更が必要となった場合に対応できる設計
他の手法との比較	公募増資、借入れ、行使価額修正条項付新株予約権等を比較検討	希薄化の規模を当社が管理できる点を重視して選択

■ 払込金額及び行使価額の算定根拠

取締役会決議の直前取引日の終値を基準とし、日本証券業協会の指針に準拠

項目	本株式（払込金額）	本新株予約権（行使価額）
基準となる株価	取締役会決議の直前取引日の当社普通株式の終値 343円	同左
ディスカウント率	9.91%	同左
決定金額	309円	309円（固定。修正条項は付されていない）
基準の考え方	直近の株価が現時点における 当社の客観的な株式価値を反映していると判断	本株式と同様
ディスカウントの理由	割当予定先が中長期保有を志向し長期の株価変動リスク を負うこと、継続企業の前提に関する注記が付される 状況でのリスク負担等を考慮	本株式と同様
有利発行該当性	日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」 に準拠し、特に有利な金額には該当しないと判断	監査役 3 名全員から適法である旨の意見を取得

02

資金使途と事業方針

既存事業区分との関係 / Discoveriezとの接続 / 充当予定

■ 既存の事業区分ごとに、注力領域を具体化する

事業区分は現行のまま、各区分においての注力領域を具現化

現行の事業区分	注力領域	概要	主な内容
ソフトウェア	AIコンタクトセンター	音声AI対応	音声AIエージェントによる応対自動化と対応履歴データの活用
ハードウェア	AIデータセンター	AI計算基盤の提供・運営	GPU、サーバー、コンテナ型DC等の提供及び当社による運営
ソリューション	AIソリューション	AIデータ活用・販促支援	顧客データ解析、販促・売上向上支援、Physical AI等
新規事業	新サービス創出 M&A・資本業務提携	AI関連サービス M&A・提携	3領域と親和性の高いM&A、資本業務提携、新規事業の創出

■ 生成AIの進展により、従来型CRM単体の差別化は難しくなっている

当社は、顧客接点データを事業成果へ変換する運用設計と、AI駆動開発内製体制構築、外部パートナーとの共同事業化を進めます。

認識する課題

- ・ 祖業であるソフトウェア事業（Discoveriez）の収益化の遅れ
- ・ AIによる既存機能の代替圧力
- ・ 財務基盤の強化
- ・ 成長領域への投資継続

対応方針

- ・ Discoveriezをデータ基盤化（Data Hubとしての役割強化）
- ・ AI前提の運用設計
- ・ 業界特化型サービス展開
- ・ パートナー（資本業務提携先）との共同事業化

期待効果

- ・ 開発体制内製化による売上総利益の改善
- ・ 継続収益の積み上げ
- ・ M&A・提携による機能補完
- ・ 企業価値向上
- ・ AI利用を前提とした組織拡大

本第三者割当により調達する資金は、
新規事業・サービス開発、運転資金、M&A・資本業務提携先開拓に充当予定です。

■ 3つの注力領域は、Discoveriezに蓄積される顧客接点データと接続する

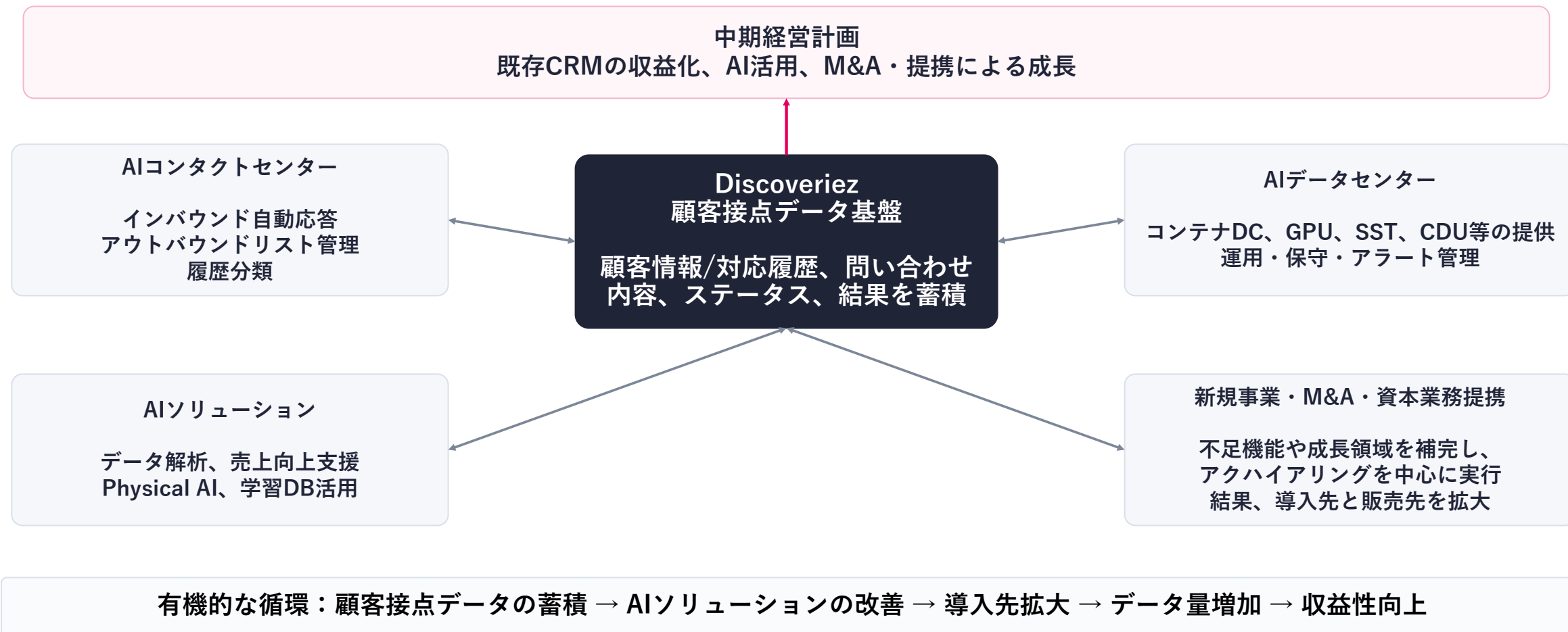
顧客対応履歴、問い合わせ内容、対応ステータス、対応結果等を、AI活用の基盤データとして活用

注力領域	Discoveriezとの接続	想定する活用
AIコンタクトセンター	問い合わせ、通話履歴、対応結果の蓄積	インバウンド自動応答後の分類、 アウトバウンドリスト管理、履歴管理
AIデータセンター	顧客対応、インシデント、アラート履歴の管理	コンテナDCの運用支援、保守対応、インシデント管理 Physical AIとのDB連携、アラート履歴、ワークフロー管理
AIソリューション	データ解析、学習DB、改善履歴の管理	顧客データ解析による売上向上、マーケティング支援 業務改善テンプレート、AIモデル改善

単体プロダクトの提供から、
顧客接点データを活用した課題解決モデルへ転換

■ 中期経営計画との接続と事業サイクル

Discoveriezに蓄積される顧客接点データを起点に、AI活用領域を連動させ、クライアントの課題解決を促進
その結果、当社の収益向上と企業価値向上につなげる



■ 調達資金は、事業開発、体制整備、外部成長の三つに充当予定

資金使途	金額（最大）	支出予定時期	主な内容
新規事業・サービス 開発資金	450百万円	2026/10-2029/3	音声AIエージェントを活用したAIコンタクトセンター、 AIデータセンター、Physical AI等
運転資金	97百万円	2026/10-2027/9	AIデータセンター関連事業及びAI駆動開発内製化体制の立ち上げに 必要な社内体制整備
M&A・資本業務提携先 開拓資金	395百万円	2026/11-2029/3	3つの注力領域との親和性が高い会社の買収、資本業務提携、関連費用
合計	942百万円		普通株式4.17億円、新株予約権5.25億円

※ 新株予約権による資金調達は、割当予定先による行使に応じて段階的に実現します。

G-NEXT

Discoveriez Discoveriez AI

SRM Design Lab ^{Japan}Spark

VoX Technology

免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

本資料は、2026年9月15日付「第三者割当による新株式及び第8回新株予約権の発行に関するお知らせ」及び同日提出の有価証券届出書の補足として作成したものです。詳細につきましては、これらの書類をご参照ください。本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。